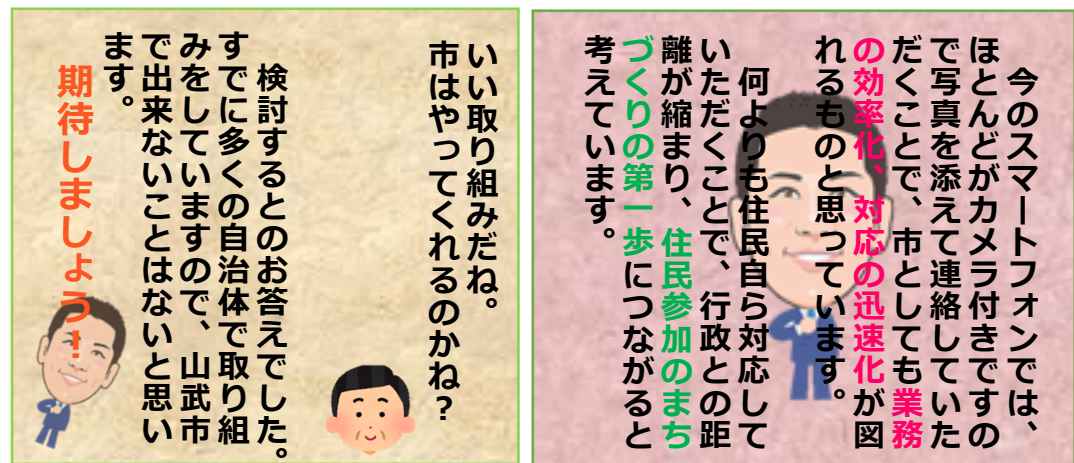
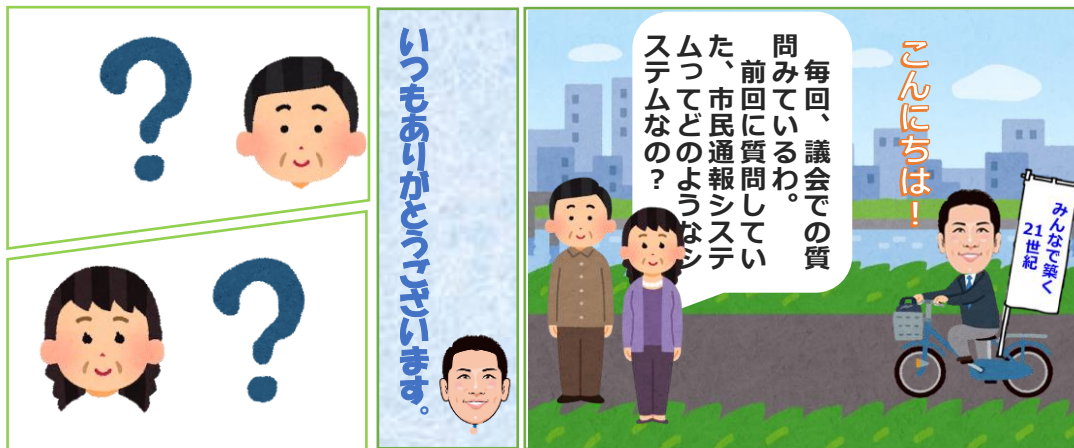


教えて！ かずくん 市民通報システムってなあ～に？



TIMES

Vol. 7

Kazuhisa Ishikawa Sammucity Report



少子化対策・子育て支援施策について考えよう！



※国・都道府県基準への上乗せ事業または市区町村の独自事業として行った少子化対策・子育て支援

始めに、山武市における子ども・子育て家庭を取り巻く現状について確認しよう。

近年の市の総人口は平成27年では54594人でしたが、令和2年では50905人と6年間で約3500人の減少となっており、減少傾向が続いています。

人口構成では0～14歳の年少人口が大きく減少しており、平成27年では5503人だった人口が令和2年では4557人と約1000人減少しています。市の構成人口割合は表のとおりです。0～14歳の割合が低いことは言うまでもないですが、65歳以上の割合が増えている事にも注目です。

次に出生数については平成27年では304人、令和2年では229人です。このように市でも、著しい少子高齢化が進んでいます。近年の多様化した社会では仕事と子育てを両立できる環境整備の強化、子育てに対する負担を軽減する施策の拡充が求められています。

構成人口割合 (%)

	平成27年	令和2年
0～14歳	10.1	9
15～64歳	60.4	56.4
65歳以上	29.6	34.6

注目

全国的にどのような取り組みをしているかcheckしてみよう！

- ・ 保育料の軽減措置
- ・ 妊娠・出産に関する相談支援
- ・ 不妊治療等への支援
- ・ こども医療費助成
- ・ 妊産婦検診や乳幼児健診
- ・ 子育て支援のハンドブック等の作成
- ・ 他自治体からの転入者受け入れの住宅支援



以上に関連する政策をおこなっている自治体が多くみられます。



当たり前を受けてた支援だけど結構あるのね。だけど・・・
保育料無料や給食費無料などの経済的な支援をもっとしてほしいわ・・・

同じ子育て当事者として気持ちはよくわかりますね。しかし保育料無料や給食費無料、お祝い金といった財源有りきの制度導入は、後々財源がなくなった際に継続が難しくなるので、取り組まない自治体が多いようです。

山武市や他の自治体の特徴的な取り組みをみてみよう！



山武市の取り組みチェック！



- ・ 不妊治療費の上乗せ助成金
- ・ 保育料第3子無料化
- ・ 公立こども園5カ所整備
県内トップクラス
- ・ 公立こども園自園給食
安心・安全な給食を提供
- ・ ちびっ子国際交流
こども園に外国人講師派遣
- ・ 相談支援充実
- ・ 子供医療費・高校生等医療費無料

はぴねす
支援センター
総合支援拠点

他自治体の取り組みチェック！



- ・ 保育料第2子から無料化
- ・ 10カ月おむつ定期便無料
- ・ ママチャリ助成金
- ・ 出産祝い金
- ・ 手ぶら登園
- ・ 中学生給食費無料
- ・ 公共施設使用料無料
- ・ 病児保育の充実
- ・ 24時間子育て相談ホットライン



まとめ

経済的な支援や健康的な支援、取り組みは様々です。

行政運営を任される首長は子育て支援だけではなく、すべてにおいてバランスよく舵を取っていく必要がありますが、いずれも子育て支援に本腰を入れている自治体例です。共通しているのは首長が子育て政策に本気を示し、積極的に取り組んでいるという点です。

国や県が変わらなくても、市や市長の考えによっては大きく変わるのです。

石川 和久事務所
〒289-1313
山武市上横地1020-3
0475-51-4803

35歳で初当選
平成30年、2期目当選
山武市議会副議長
経済建設常任委員

Ishi-kazu.com
HPにて市政報告紙
TIMES掲載中！